

## 学年末にはどれに丸をつけますか？

図書館長 森 貞

2019年2月13・14日に、2・3年生各2クラス(151人)を対象に緊急実施した「図書館利用に関するアンケート調査」の結果を以下に示します。

### 1. 利用頻度（平成30年度）

- (1) 毎日[2 (1%)]
- (2) 週に1～数回[21 (14%)]
- (3) 月に1～数回[77 (51%)]
- (4) 年に1～数回[49 (33%)]
- (5) 利用していない[2 (1%)]

### 2. 利用目的（複数回答可）

- (1) パソコンの利用[93(62%)]
- (2) 読書[23 (15%)]
- (3) 試験勉強（レポート作成を含む）[122 (81%)]
- (4) 書籍等の借用[39 (26%)]
- (5) DVD, CD等の視聴[23 (15%)]
- (6) グループディスカッション（於：図書館内のアクティビティルーム）[22 (15%)]

本年度末の同時期に同様のアンケートに回答することになったら、あなたはどれに丸をつけることになるのでしょうか？（心の声：図書館長としては、利用頻度(1)(2)の割合が増えるとうれしいなあ）

ここでPRを一つ。購入してほしい書籍がある場合には、図書館のホームページの「リクエスト」からリクエストができます。是非、利用してください。

最後に余談を一つ。『NHKスペシャル』（2018年10月13日放映）によれば、延べ41万人分のビッグデータを対象に「健康寿命を伸ばす生活習慣」をAIに分析させたところ、「本や雑誌をよく読む」という項目が、2位以下をダントツに引き離して、119もの健康要素と繋がっていたそうです。あくまでも、余談です。

（『青武台だより』No.219（福井工業高等専門学校 2019/04/04 発行）より転載）

## 「学習の場」そして「憩いの場」としての図書館

図書館長 森 貞

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。今年度は、新型コロナ禍のため、例年、年度初めに開催しているクラス単位の図書館オリエンテーションが実施できず、図書館長として、残念な気持ちでいっぱいです。

皆さんは、「図書館」と聞いてどういうイメージを持ちますか？本を借りたり、閲覧席で本を読んだりする場所だと思う人が大半だと思います。

本校図書館では、こうした役割を果たす他に、パソコンコーナーで、インターネット検索による調べものをしたり、アクティビティルームでグループ学習をしたり、メディアコーナーで DVD・CD・LD を視聴したりすることができます。つまり、「学習の場」と同時に「憩いの場」でもあります。現在は、「図書の貸し出し・返却」のみが行われていますが、全面開館の暁には、堅苦しい場所だと考えずに、気軽に立ち寄ってくださることを期待しています。

ところで、図書館では、入試・広報委員会との共同新企画として、今年度より、『新入生に読んでほしい図書』を新入生の皆さんに推薦することになりました（推薦図書は本校図書館のホームページにて紹介しています）。いずれも本校教員が、新入生の皆さんに是非読んでほしいと自信を持って推薦された本です。図書館にもありますので、是非一度手に取って読んでみてください。

（『青武台だより』No.222（福井工業高等専門学校 2020/08/31 発行）より転載）